

薬の豆知識

vol. 5 インフルエンザ治療薬

一気に冬の季節がやってきましたね。インフルエンザのため学級閉鎖・・・などの話題が耳に入ってくる季節になってきました。今回はインフルエンザ治療薬について紹介したいと思います。世の中には多くの医薬品が存在し、使用も多岐に渡りますが、実はインフルエンザの治療薬は主に以下の4種が使われます。



◆タミフル(カプセル剤・ドライシロップ剤)

成人および体重37.5kg以上の小児：1回1カプセルを1日2回、5日間服用

小児の場合ドライシロップが使われることも多いです。

ドライシロップの場合：1回2mg/kgを1日2回、5日間服用

予防として使用されることもあり、その場合は飲み方が変わります。予防投与では、1回1カプセルを1日1回、7～10日間服用します。



◆リレンザ(吸入剤)

吸入するお薬です。

1回2ブリスターを1日2回、5日間吸入

予防として用いる場合は、1回2ブリスターを1日1回、10日間吸入します。



◆イナビル(吸入剤)

吸入するお薬です。

成人および10歳以上の小児では1回2容器を1日1回吸入し、10歳未満の小児では1回1容器を1日1回吸入します。

大きな特徴は1度の吸入で投与が完結することです。



◆ラピアクタ(注射剤)

点滴にて使用します。

通常、1日1回、15分以上の時間をかけて点滴します。ただし、症状により1日1回2日以上使うことがあります。大きな特徴は、通常1度の点滴で治療が完結することです。

以前話題にもなりましたが、小児・未成年者のインフルエンザ治療薬使用による異常行動について、お薬との関連は不明なものの、インフルエンザ発症および治療薬使用後に、異常行動の発現とそれに伴う転落などの可能性が否定できません。治療薬使用開始から、少なくとも2日間はお子様から目を離さないようお願いいたします。

インフルエンザ感染拡大を防ぐためにも、うがい手洗い・マスク着用・適度な湿度管理が必要です。ご家族や周りの方も同様に予防を行いましょ。また、栄養・休養を十分にとり、人ごみを避けることも必要ですね。

